

施策評価調書(2年度実績)

施策コード Ⅲ-2-(2)

政策体系	施策名	芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	139
	政策名	芸術文化による創造県おいたの推進	関係部局名	企画振興部、教育庁		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	芸術文化ゾーンを核とした取り組み	芸術文化の創造性を生かした行政課題への対応	芸術文化を生かした地域づくりの推進

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		2年度			6年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125	
i	子どもたちが芸術文化に触れる機会(人)	①②③	H26	11,896	12,750	6,931	54.4%	13,750					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	著しく不十分 県立美術館の教育普及事業、NPO法人大分県芸術文化振興会議の文化キャラバン、公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団が実施する学校訪問コンサート等による芸術家のアウトリーチ活動を実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響による中止や規模縮小が相次ぎ、目標値を達成できなかった。	著しく不十分

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・県立美術館前歩行者天国において「カドウ建築の宴 in OPAM」を開催しアーティストによるワークショップやステージイベントを実施し、美術館の賑わいを創出したほか、RWC2019で交流を深めたウェールズの文化等を紹介する「ウェールズ×大分 友好交流1stアニバーサリー展」を開催するなど、多様な事業を展開した。
②	・芸術文化に触れる場づくりを推進するため、福祉施設や学校など4施設にアーティストを派遣してワークショップを12回開催した。 ・文化活動を通じた特別支援学校の児童・生徒と高校生の交流や、県内の児童・生徒による作品展示の機会を通じ、相互理解の促進を図った。(延べ695人)
③	・別府市内において、各所を回遊する体験型の作品展「梅田哲也 in BEPPU」や文化・芸術に関するイベントを集めた市民文化祭「ベップアートマンス」を開催することで、国内外に情報発信するとともに、地域の魅力増進を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	芸術文化ゾーン拠点創出事業	51.2	342
②	みんなでつくる文化活動推進事業	300.0	338
②③	芸術文化による地域おこし事業	166.4	343

【VI. 施策に対する意見・提言】

○第3回「安心・活カ・発展プラン2015」推進委員会 (R3.2)
・カルチャーツーリズムなどを進める際は、芸術文化の拠点となるOPAMだけでなく、地域を巻き込んだ形でうまく連動して、企画等を進めて欲しい。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県立美術館とiichiko総合文化センターを芸術文化ゾーンの核として、県内各地の様々な取り組みとのネットワークの構築を図るとともに、芸術文化の創造性を活用した教育、産業、福祉分野等での取り組みを進める。 ・県立美術館を中核とし、県内各地域の文化施設や観光地を往来・循環しながら、地域文化や歴史等を体験するカルチャーツーリズムを推進していく。 ・デジタル手法を活用し、作品の理解や興味関心を高め、コロナ禍においても芸術作品を鑑賞することができるデジタルミュージアムの構築を進める。 ・文化体験講座の参加対象を拡大し、より多くの子どもたちが芸術文化に触れる機会の充実を図る。 ・文化活動を通じた特別支援学校と県立高校の相互理解の促進や誰もが参加できる活動機会の創出に向け、共同制作を通じた交流を進める。